

宮城県感染症発生動向調査情報(第51週)

宮城県【平成25年12月26日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2013.12.16 ~ 12.22 ・ 第51週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙 台 市				宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第48週	第49週	第50週	第51週	
水痘	3 0.60	23 2.30	6 1.20		7 2.33	22 4.40	1 0.50	44 1.69	106 1.83	3,307	◎ →	◎ →	◎ →	◎	
流行性耳下腺炎	1 0.20	6 0.60			4 1.33	1 0.20	8 4.00	8 0.31	28 0.48	1,180	○ →	○ →	○ →	○	
百日咳											→	→	→		
感染性胃腸炎	96 19.20	148 14.80	89 17.80	48 24.00	19 6.33	82 16.40	24 12.00	499 19.19	1005 17.33	16,286	◎ →	◎ →	◎ →	◎	
手足口病	3 0.60	4 0.40	2 0.40					3 0.12	12 0.21	4,616	◎ →	○ →	レ →		
伝染性紅斑		5 0.50		1 0.50	3 1.00		1 0.50	40 1.54	50 0.86	806	レ →	→	○ →	○	
突発性発しん	2 0.40	2 0.20	4 0.80		3 1.00	2 0.40	4 2.00	23 0.88	40 0.69	1,891	○ →	○ →	○ →	○	
ヘルパンギーナ	1 0.20							1 0.04	2 0.03	2,100	→	→	→		
インフルエンザ	5 0.63	2 0.13	3 0.38			4 0.50	1 0.25	8 0.19	23 0.25	15,805	○ →	○ →	レ →		
咽頭結膜熱		1 0.10	3 0.60			1 0.20		13 0.50	18 0.31	757	→	→	→		
流行性角結膜炎		1 0.33	1 1.00						2 0.17	166	→	→	→		
急性出血性結膜炎											→	→	→		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16 3.20	23 2.30	5 1.00	16 8.00	1 0.33	39 7.80		52 2.00	152 2.62	5,042	◎ →	◎ →	◎ →	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→		
無菌性髄膜炎											→	→	→		
マイコプラズマ肺炎		1 1.00		1 1.00			5 5.00	1 0.20	8 0.67	911	→	→	→		
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→		
RSウイルス感染症	10 2.00	12 1.20	1 0.20		2 0.67	3 0.60		27 1.04	55 0.95	1,290	◎ →	◎ →	◎ →	◎	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	3	2	1	2	1	2	7	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向						
	川崎病							2							
	不明発疹症							3							
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※			1 1.00					1 0.08	1						

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第49週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)
インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は佐賀県(2.69)、鹿児島県(2.37)、山口県(2.01)である。インフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は36例と前週と比較して減少した。都道府県別では25都道府県から報告があり、年齢別では0歳(3例)、1~9歳(10例)、10代(2例)、20代(1例)、30代(2例)、50代(3例)、60代(4例)、70代(2例)、80歳以上(9例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は4,379例と第46週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約69%を占めている。**咽頭結膜熱**: 報告数は第46週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.95)、佐賀県(1.87)、宮崎県(1.83)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 報告数は第46週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(5.67)、新潟県(4.07)、北海道(4.06)である。**感染性胃腸炎**: 報告数は第46週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は埼玉県(25.38)、群馬県(21.85)、東京都(21.49)である。**水痘**: 報告数は第46週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(3.59)、岩手県(3.28)、佐賀県(3.04)である。**手足口病**: 報告数は第45週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(3.55)、宮崎県(3.06)、佐賀県(2.22)である。**ヘルパンギーナ**: 報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は香川県(0.30)、福井県(0.27)、大分県(0.17)である。**マイコプラズマ肺炎**: 報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮城県(1.75)、岩手県(0.95)、福島県(0.86)、栃木県(0.86)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 減少した。都道府県別では11都道府県から18例報告があり、年齢別では0歳(4例)、1~4歳(8例)、5~9歳(2例)、20代(2例)、50代(1例)、* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内の数字は定点当たり報告数となります。

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
2類感染症: 結核

塩釜管内 女性1名
気仙沼管内 女性1名
仙台管内 男性3名、女性1名
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
仙台管内 男性1名
4類感染症: 報告なし
5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症
仙南管内 男性1名
仙台管内 男性1名
後天性免疫不全症候群
仙台管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[感染性胃腸炎]
気仙沼管内で警報継続中。
栗原管内で警報値を超えた。
[流行性耳下腺炎]
気仙沼管内で警報継続中。
[水痘]
石巻管内で注意報値を超えた。
[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
栗原管内で警報値を超えた。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎集団発生事例より

塩釜管内 第51週採取分 ノロウイルスG II 2件
第51週採取分 ノロウイルスG II 3件
仙南管内 第51週採取分 ノロウイルスG II 3件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第49週採取分 (12.2~12.8)	第50週採取分 (12.9~12.15)	第51週採取分 (12.16~12.22)
インフルエンザウイルスA(H3)	1件	0件	0件
RSウイルス	4件	2件	0件
アデノウイルス	1件	0件	0件
サイトメガロウイルス	1件	0件	0件

[感染性胃腸炎]
引き続き患者が急増し、今週新たに栗原及び宮城野保健所管内で警報開始基準値(1定点当たり20人)を超えた。施設での集団発生事例も相次いでおり、年末・年始の集会や飲食等にも注意が必要である。
ノロウイルスに関するQ&A(厚生労働省)
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>
嘔吐下痢症予防ポスター(県保健福祉部疾病・感染症対策室)
<http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/86905.pdf>

※ 感染症発生動向調査週報第52週(12月23日~29日)は平成26年1月8日(水)発行を予定しています。